



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和2年9月16日

第9号

校長 矢野 晴一

学校教育目標：「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

「みんなで前進！」 2020 大原中学校 体育大会開催

前進～団結し、仲間とつくる我らの歴史～



9月13日(日)、本年度の体育大会が開催されました。令和2年度の体育大会は、すべての活動が例年通りというわけにはいきませんでした。できる種目も限られ、制限の多い中での開催となりました。でも、そんな中、子どもたちは一つ一つの演技に自分の持てる精いっぱい力を出し切り、輝きを放ってくれました。子どもたちがめざしたスローガンは、「**前進！～団結し、仲間とつくる我らの歴史～**」です。

やさしさと 見えない努力に 支えられ
みな笑顔が 輝きはなつ
晴一



当日は、前日の雨の影響もあり、早朝から生徒会をはじめリーダーたちの力を借りてグラウンドの整備からのスタートでした。みんなが泥だらけになりながら準備してくれたおかげで開会時にはベストコンディションになっていきました。



「本当に体育大会ができるのだろうか？」子どもたちも私たち職員も、そんな不安とずっとたたかっていたような気がします。そんな中、子どもたちはたくさんの制限がある中で自分たちにできることを探し、全力を尽くす姿をみせてくれました。「決して投げ出すことなく」「決してうつむくことなく」仲間とともに準備や練習に取り組む子どもたちの姿は、まさにスローガンである「**前進**」の姿でした。限られた中で精いっぱい努力する子どもたちの姿をみて、私は尊敬の念を抱かずにはおれませんでした。なんとすてきな子どもたちなのでしょう。心から「**ありがとう**」と伝えたいと思います。

本当にすてきな体育大会をありがとう！

「予行も行われず、練習時間はほとんどなかったけれど・・・」

大会を支えてくれた各係の活躍



すべてのことが例年とは異なる体育大会・・・。まず、予行練習を行っていません。練習時間も十分とはいえません。そんな状況の中、子どもたちは、それぞれの係の仕事を懸命に務めてくれました。

各演技の責任者のみなさん、放送の機械係のみなさん、アナウンスのみなさん、みんなより早く登校して練習していた吹奏楽部のみなさん、他にもいろいろな見るところ見えないところで支えてくれたみなさんのおかげで令和2年度の体育大会ができたのだと心から実感しています。

「ありがとうございます」 いただいた元気が出る贈りもの

「こんなときだから、どうか子どもたちが元気になるようなものをプレゼントしたい。」



長い休業措置が終わり、6月から学校が再開されましたが、間もなくして校区の森区長様が訪ねてこられ、冒頭のような申し出を受けました。

そして、生徒会のスローガンである「前進」と合言葉としている「積小為大」の言葉を記した横断幕をプレゼントしていただき、体育大会でお披露目することができました。

これから、校内に常時掲示していきます。まだ制限される日々は続くと考えられますが、いただいたメッセージを忘れずに「前進」の言葉の通り、みんなで力を合わせて一歩ずつ前に進んでいきたいと思えます。ありがとうございました。

小さいけれど大きな感動・・・その10 3年生のつぶやきに感動

「子どもたちが元気になるように！」とプレゼントしていただいた横断幕を目にした3年生のある子どもが、「校長先生、横断幕を贈ってくださった方は、体育大会に来ていただけるのでしょうか？」とつぶやくように尋ねてきました。

その言葉は、「お礼を言いたい」「私たちのがんばる姿を観ていただきたい」という気持ちであふれていました。

自分のことや自分のブロックのことでいっぱいになるであろう、その時に、相手に心を向けて考え、それを行動に結びつけようとしている姿に大きな感動を覚えました。

